



進路ニュース

平成27年5月号
藤代高等学校進路指導部



5月に入り、校内の藤棚も紫色の房に美しく覆われるようになりました。新入生も学校に慣れ、藤高生として力強く歩み始めたようです。勉強に適したさわやかな季節です。授業や家庭学習の充実をはかってください。特に授業の予習・復習を継続して行いましょう。

今回は4月16日に実施した進路希望調査の結果と今年から実施するGTECを特集しました。

進路希望調査の回答結果をみると、今回も残念ながら、家庭学習時間の不足は解消できていないようです。希望の状況と日々の家庭学習時間とに大きなギャップが見られます。藤高生の今後の奮起に期待します。

1 進路希望状況

進路希望	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
大学進学	202	84.2%	206	85.5%	213	89.5%	621	86.4%
短期大学進学	2	0.8%	6	2.5%	2	0.8%	10	1.4%
専門学校等	15	6.3%	7	2.9%	13	5.5%	35	4.9%
就職	0	0%	4	1.7%	5	2.1%	9	1.3%
未定	21	8.8%	18	7.5%	5	2.1%	44	6.1%
合計	240		241		238		719	

2 大学・短大希望者の中での国公立・私立の希望

進路希望	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
国公立	58	29%	90	42%	61	29%	209	33%
私立	36	18%	58	27%	135	64%	229	37%
未定	107	53%	64	30%	16	8%	187	30%
合計	201		212		212		625	

★ 目標を定めるためのアクションを起こそう

各学年とも大学進学を希望する人がほとんどです。進学を希望する人は、どの学校のどのような学部・学科を希望するのか、具体的に明確な目標を早めに決めることができるように努力しましょう。目標となる志望校を考える上で、考えるべきポイントは次の2点です。

- ① 大学で何をやりたいのか。・・・大学で何を学びたいのか。
大学でどんなスキルを身につけたいのか。
大学でどんな活動・経験をしたいのか。

- ② 将来どのような道へ進みたいのか。・・・将来どんな仕事をしたいのか。
将来どんな人になりたいのか。
将来どんな生き方をしたいのか。

これらのポイントが決まれば、志望校はおのずと絞れてくるでしょう、しかし、「とりあえず大学に行くつもりだけど、大学に行って何をやりたいのか、将来何をしたいのか、よくわからない」という人も少なくないのではないのでしょうか。「自分は何が向いているのか」「どんな道をめざせばいいのか」・・・決して易しい「問い」ではありませんから「答え」が見つからなくても、決して焦る必要はありません。しかし、だからといって何もしなければ、何も状況は変わりません。自分の目標を定めるための行動を自分から起こしてください。先送りにせず「今から」できることを始めましょう。

★ オープンキャンパスに行こう

具体的な進学目標を持つためには、オープンキャンパスなどに参加することをおすすめします。インターネットやパンフレットからでは感じるできないことも、実際に自分の足を運び、自分の目で見、自分の耳で聞くことによって、何か実感できるものがあるはずです。また、他の大学との比較ができるように1つの大学だけではなく、できるだけ幅広く、多くの大学のオープンキャンパスに参加してみてください。

具体的な目標を持つことができれば、日々の学習にもやる気も出ます。過去の受験データでも、志望校を具体的に決定した時期が早ければ早いほど、合格率が高くなるという結果が出ています。

3 平日の学習時間

学習時間	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんどやってない	23	10%	79	33%	47	20%	149	21%
1時間程度	104	43%	113	47%	93	39%	310	43%
2時間程度	101	42%	41	17%	56	24%	198	28%
3時間程度	10	4%	5	2%	26	11%	41	6%
4時間程度	1	0%	1	0%	13	5%	15	2%
5時間程度	0	0%	0	0%	3	1%	3	0%
6時間以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
平均学習時間	85.4分		53.7分		88.2分			

4 休日の学習時間

学習時間	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんどやってない	18	8%	51	21%	32	13%	101	14%
1時間程度	59	25%	68	28%	52	22%	179	25%
2時間程度	77	32%	77	32%	43	18%	197	28%
3時間程度	64	27%	30	12%	52	22%	146	20%
4時間程度	19	8%	9	4%	25	11%	53	7%
5時間程度	2	1%	3	1%	15	6%	20	3%
6時間以上	0	0%	1	0%	19	8%	20	3%
平均学習時間	123.3分		92.6分		146.9分			

5 帰宅時間

帰宅時間	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
16:00～17:00	28	12%	30	12%	47	20%	105	15%
17:00～18:00	60	25%	40	17%	31	13%	131	19%
18:00～19:00	51	21%	22	9%	11	5%	84	12%
19:00～20:00	60	25%	49	20%	37	16%	146	21%
20:00～21:00	39	16%	65	27%	44	18%	148	22%
21:00～22:00	2	1%	30	12%	25	11%	57	8%
22:00～	0	0%	5	2%	9	4%	14	2%

★ 部活動の生徒は、隙間時間と休日が勝負

「部活が忙しいから、勉強する時間がない」ということでは「文武両道」とは言えません。たとえ5分でも10分でも「時間をつくって勉強する」という姿勢と習慣を身につけてほしいものです。どんなに忙しい人でも、1日の中で5分や10分の時間ならいくらでもつくれるはずです。そうした「隙間の時間」をうまく見つけて利用しましょう。その上で休日にいかにまとまった学習時間を確保するかが勝負となるでしょう。そうした姿勢と習慣を身につけることができた人は、3年生で部活を引退した後、本格的な受験勉強に取り組むことができ、飛躍的に成績が上昇します。

★ 学習時間の目標は「学年＋2時間」

国公立大学の入試は、原則5教科です。1年生から全教科を全力で学習する必要があります。
また、国公立大学や有名私立大学など、難関といわれる大学の受験に対応するためには、高校3年間で4000時間の自主学習が必要といわれています。それだけの学習時間を確保するための1日あたりの学習時間の目安は、「**学年＋2時間**」です。つまり、**1年生で3時間、2年生で4時間、3年生で5時間**ということになります。これを毎日続けていかないと国公立大学や「早慶上理」「MAR CH」といった有名私立大学の受験には対応できません。

6 塾・予備校等の通塾状況

	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
通っている	56	23%	68	28%	71	30%	195	27%
通っていない	184	77%	173	72%	165	69%	522	73%

★ 塾に通っている人も基本は学校の授業

塾に通っている人も多いようですが、ここで塾に通っている人に質問です。
「塾にいる時間と学校にいる時間、どちらの時間が長いでしょうか？」
「塾の授業と学校の授業、受ける授業の時間数はどちらが多いでしょうか？」
学習する時間がより長い学校の授業を有効に活用できないのでは本末転倒です。学校の授業を
ないがしろにして塾の学習を中心にしようとする人がまれにいますが、そういう人はだいたい成績も
上がらないし、受験でも失敗します。あくまでも学校の授業を中心に据えて、まずは学校の授業の予
習・復習をしっかりとやって基礎を固めてください。その上で塾において学校の授業の補完をする
というスタンスであれば、成績アップにつながるでしょう。

7 3年生 希望分野系統（大学）

分野・系統	男子		女子		3学年計	
人文（文学等）	16	12%	19	18%	35	15%
社会（経済、経営等）	41	31%	17	16%	58	24%
理学	5	4%	1	1%	6	3%
工学（理工学、基礎工学）	21	16%	4	4%	25	11%
農学（生物資源等）	4	3%	4	4%	8	3%
保健（薬、看護、理学療法等）	9	7%	10	9%	19	8%
家政（栄養を含む）	0	0%	8	7%	8	3%
教育	5	4%	10	9%	15	6%
芸術	0	0%	2	2%	2	1%
教養	0	0%	1	1%	1	0%
その他	8	6%	7	7%	15	6%
未定	12	9%	8	7%	20	8%

8 1年生 藤代高校に入学した理由

理由	男子		女子		1学年計	
通学に便利だから	24	21%	10	8%	34	14%
進学校だから	45	38%	45	37%	90	38%
部活動が盛んだから	27	23%	14	11%	41	17%
学校の雰囲気が好きだから	11	9%	37	30%	48	20%
施設設備が整っているから	0	0%	3	2%	3	1%
親や兄弟が通学した学校だから	7	6%	11	9%	18	8%

GTEC for STUDENTS について

藤代高校では、従来の「英検」とともに英語検定試験である「GTEC for STUDENTS」を今年度から新たに実施することになりました。
第1回目は1年生から3年生までの希望者を対象に7月4日（土）に実施いたします。
ここでは「GTEC for STUDENTS」について簡単に説明したいと思います。

1 GTEC for STUDENTS とは

- (1) ベネッセが実施する中学生・高校生向けの「英語運用力」を測定するテスト。
「読む」「書く」「聞く」の3技能を測る**スコア形式**のテスト。（810点満点）
(2) 2013年度の全国の受検者数 約66万人。
(3) 学校単位での申込・受検のみ。（公開会場での受検は行っていない）
(4) 料金 2,880円
(5) 試験時間 トータル90分（45分＋45分）

2 GTEC for STUDENTS の大学入試での活用例

【国公立大学の例】

大学	学部・学科	入試形態	GTECの活用内容
高崎経済 千葉	地域政策 法政経	推薦Ⅰ 経済学特進 プログラム	活動実績報告書の評価対象とする 680点以上を出願要件とする。
東京海洋	海洋科全学科	一般入試 推薦・AO	500点以上を出願要件とする。
首都大学東京	都市教養	グローバル 人材育成	700点以上を出願要件とする。
都留文科	英文学科	推薦	スコア（550）を、加算評価として活用する。

【私立大学の例】

大学	学部・学科	入試形態	GTECの活用内容
垂細垂	法、経済、経営、 国際関係	推薦	公募推薦入試において、スコア600を有している 場合、学科試験を免除。
学習院	法・政治学科	自己推薦	スコア710以上かつライティング130以上を出願 資格として認める。
工学院	情報	公募推薦	（資格優遇型） スコア553以上を出願資格として認める。
昭和女子	人間文化・英語コ ミュニケーション	推薦	550点以上を出願資格とする。
中央	法	自己推薦	スコア（基準なし）を参考とする。
法政	キャリアデザイン	自己推薦	スコアを出願資格とする。
武蔵野		AO	550点以上を出願資格のひとつとする。
明治	文	自己推薦	出願資格の1つとして認めることがある
明治学院	国際・国際	AO	550点以上を出願資格とする。
立教	経営	自由選抜	スコア720を出願資格として認める。

現状では推薦入試・AO入試での活用が大部分ですが、東京海洋大学では平成28年度入試から一般入試を含めた全入試において外部英語資格試験のスコア提出を出願要件にすると発表しています。他の国公立大学においても、英語資格試験の入試での活用を現在検討中であり、私立大学も含めて、今後英語資格試験の入試での活用が急速に進むものと予想されます。

3 試験日・申込みについて

- (1) 試験日 第1回 7月4日（土）
(2) 試験会場 藤代高校
(3) 申込み 5月下旬 ☆後日申込書を配ります。
(4) 事前学習教材配布 6月中旬